

大雨による防災情報（第21報）

湯沢河川国道事務所 災害対策支部【注意体制（河川）】 災害対策支部【警戒体制（砂防）】継続

湯沢河川国道事務所では、梅雨前線に伴う大雨の影響により、7月13日（土）6時30分に洪水災害対策支部（警戒体制）を設置しておりましたが、雄物川の神宮寺観測所の水位は、はん濫注意水位を下回り、今後も水位は低下する見込みであることから、7月13日（土）13時00分に災害対策支部（注意体制）に移行しました。また、神宮寺観測所の受持区間（雄物川 右岸：玉川合流点から大仙市協和小種、雄物川 左岸：玉川合流点から大仙市正手沢）について、「水防警報（待機）」を発表しました。

なお、災害対策支部警戒体制（砂防）は継続中です。

平成25年7月梅雨前線に伴う降雨《速報版》を発表します。

※アンダーライン箇所が前回からの更新箇所

◆河川水位状況(7月13日13時00分現在)

河川	水位観測所	水位	状況	水防団 待機水位	はん濫 注意水位	避難判断 水位	はん濫 危険水位
雄物川	神宮寺(大仙市)	<u>4.89m</u>	<u>下降中</u>	3.50m	5.00m	5.40m	5.70m

◆砂防降雨状況(7月13日13時00分現在)

山系	雨量観測所 (仙北市)	連続雨量	
八幡平山系 (秋田県側)	黒湯	<u>172mm</u>	※雨量超過観測所
	熊ノ台	<u>110mm</u>	※雨量超過観測所
	生保内	<u>137mm</u>	※雨量超過観測所
	小先達	<u>123mm</u>	※雨量超過観測所

◆災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	警戒体制	注意体制	解除
河川	7月11日 9時20分	7月12日 16時00分	7月12日 20時00分	7月13日 6時30分	<u>7月13日 13時00分</u>	—
砂防	7月12日 15時30分	7月12日 18時30分	—	—	—	—
道路	7月13日 7時00分	—	—	—	—	7月13日 10時00分

◆その他

今後の防災情報にご注意ください。

速報版については、別添のとおり。下記アドレスにも掲載しています。

※掲載ページ：<http://www1a.thr.mlit.go.jp/tohokunet/>

発表記者會：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢支局・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2

TEL 0183-73-3174（事務所代表）

〈河川・砂防〉 副所長 土田 恒年（内線204）

調査第一課長 畑山 作栄（内線351）

平成25年7月13日
国土交通省
湯沢河川国道事務所

平成25年7月梅雨前線に伴う降雨 《速報版》

《ポイント》

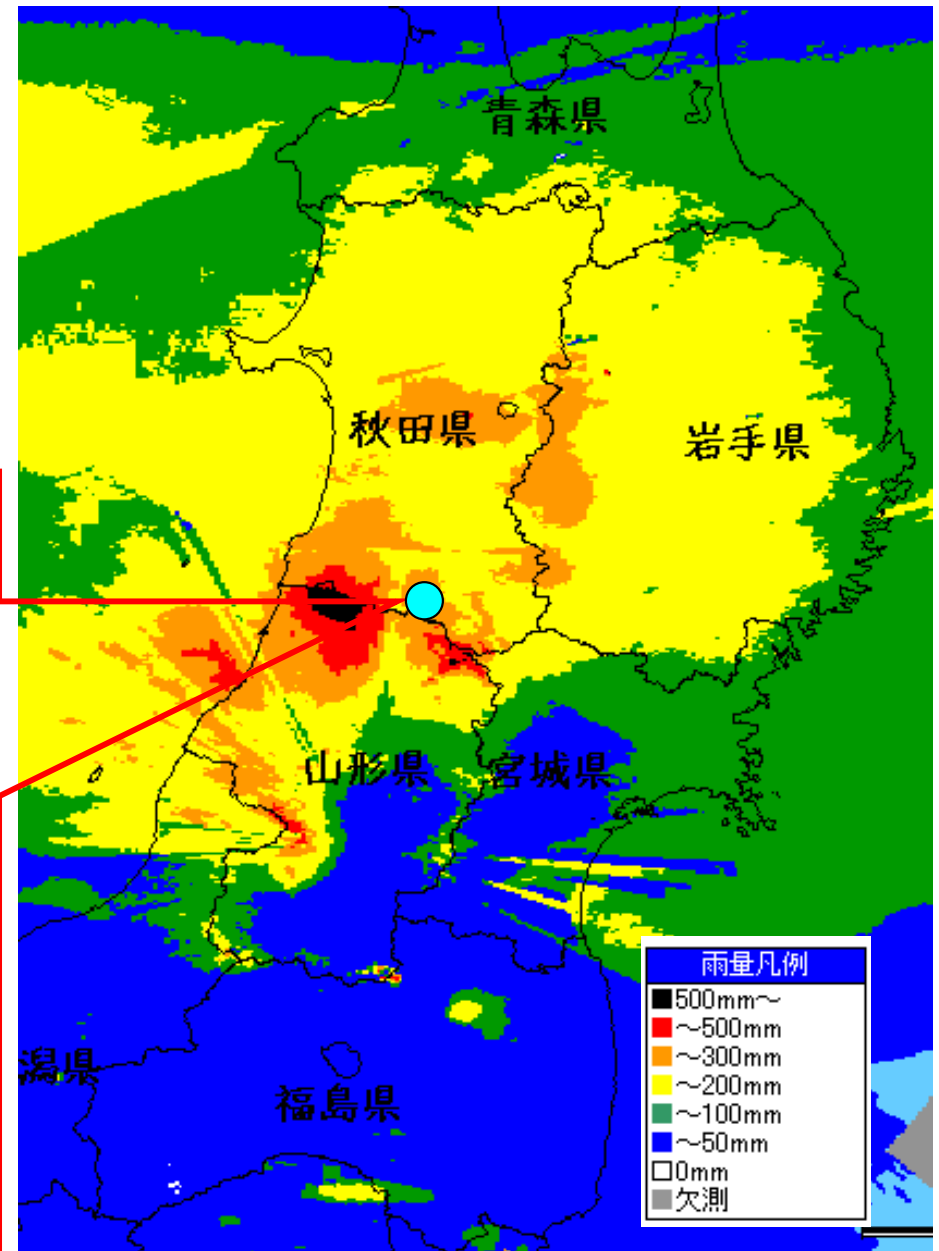
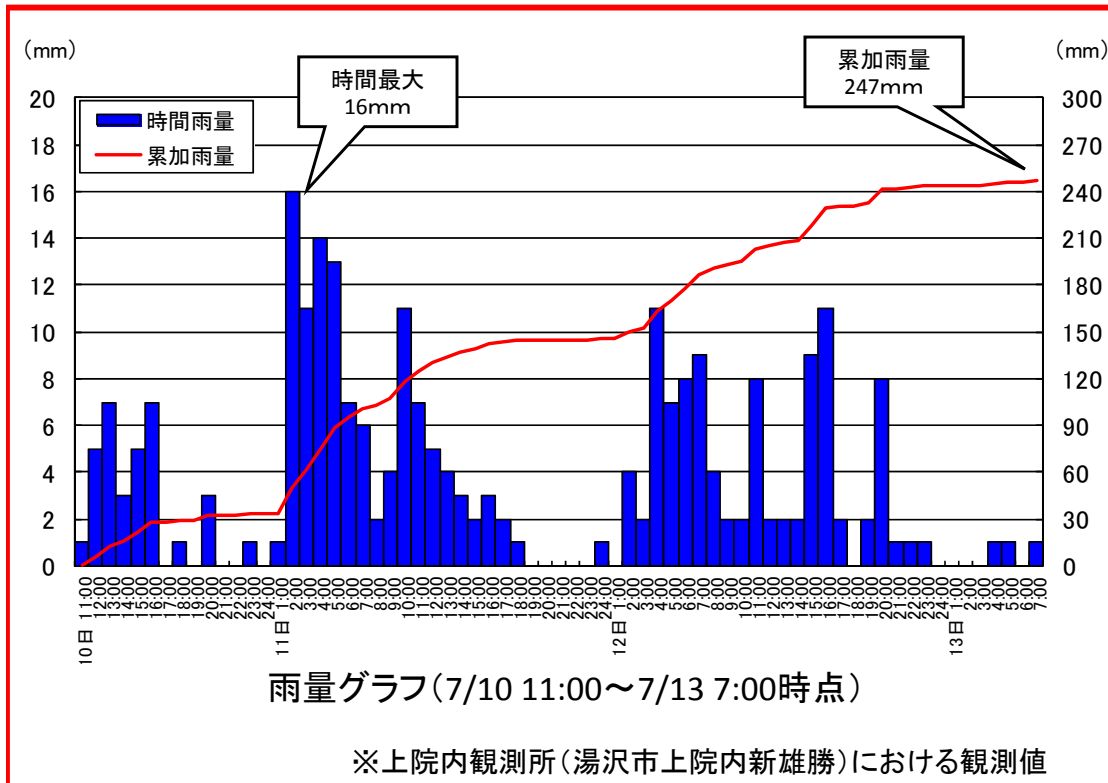
- 7月期としては、直近30年間で最高水位を記録(神宮寺観測所:大仙市神宮寺)
- 大仙市強首地内の堤防整備(事業中)で、浸水被害を防止
- H23年6月洪水で浸水した大仙市間倉地内で、土のうによる緊急対策を実施
- 排水ポンプ車の出動により、内水被害を軽減

速報版に付き、今後情報が変更となる可能性があります。

平成25年7月出水・降雨の概要

- 東北地方に停滞した梅雨前線に向かかって、湿った南よりの風が流れ込み、活発化した前線の影響により、10日昼頃から断続的に雨が降り続けている。
- 降水量は、上院内(湯沢市上院内)で247mmを記録。

※国交省雨量観測地点



7月10日11時~13日7時までの累加雨量
出典: 国交省雨量観測データ

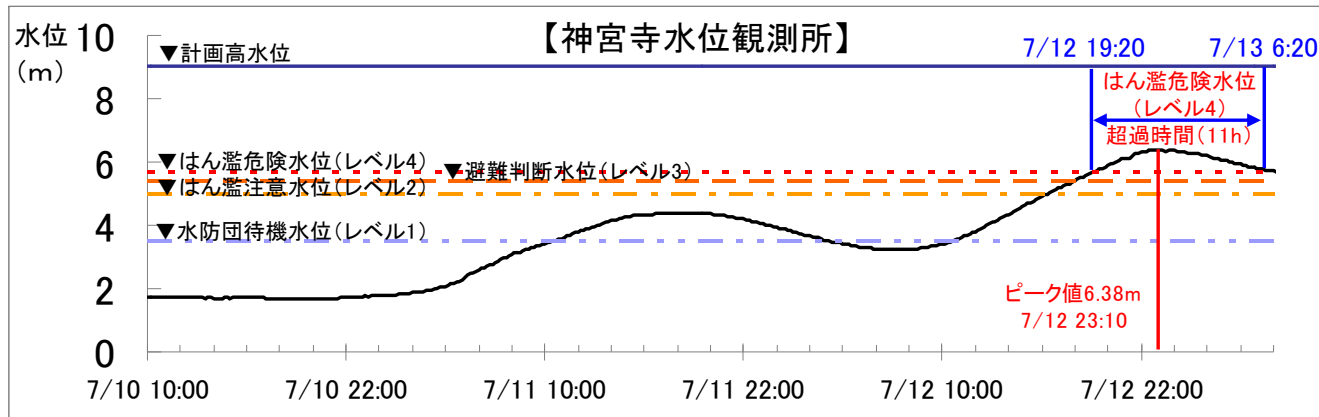
7月期としては、直近30年間で最高水位を記録(神宮寺観測所)

- 神宮寺観測所(大仙市神宮寺)において、7月期としては直近30年間で最高水位を記録した。
- 降り続いた雨の影響により、はん濫危険水位を11時間超過する洪水となった。(超過時間7月12日19:20~13日6:20)



直近30年間の7月期最高水位
＜神宮寺観測所＞

年	水位
昭和57年	1.73
昭和58年	3.42
昭和59年	3.22
昭和60年	2.91
昭和61年	2.38
昭和62年	3.10
昭和63年	0.78
平成 1年	0.92
平成 2年	4.53
平成 3年	3.71
平成 4年	1.61
平成 5年	3.03
平成 6年	4.08
平成 7年	3.79
平成 8年	2.36
平成 9年	4.06
平成10年	2.72
平成11年	1.43
平成12年	2.82
平成13年	2.82
平成14年	4.76
平成15年	3.01
平成16年	5.17
平成17年	2.56
平成18年	1.80
平成19年	1.50
平成20年	1.91
平成21年	5.18
(最高水位観測日時)	(19日16:00)
平成22年	4.16
平成23年	3.32
平成24年	3.45



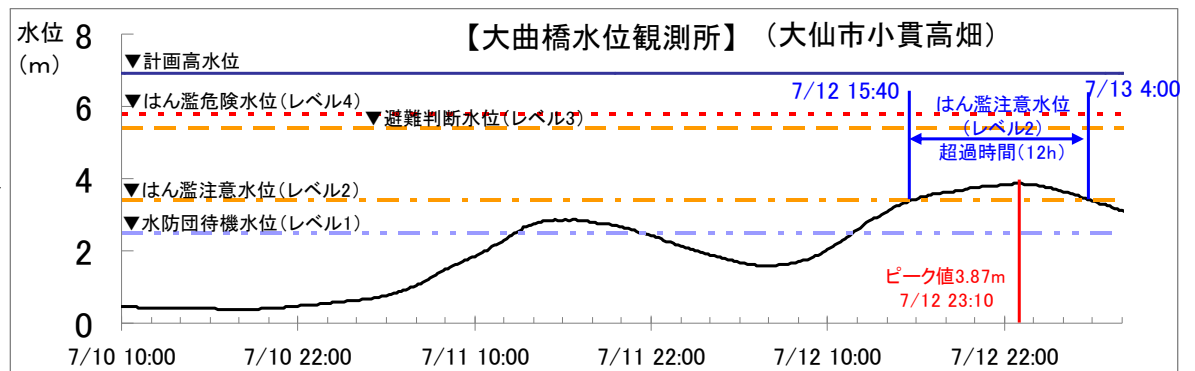
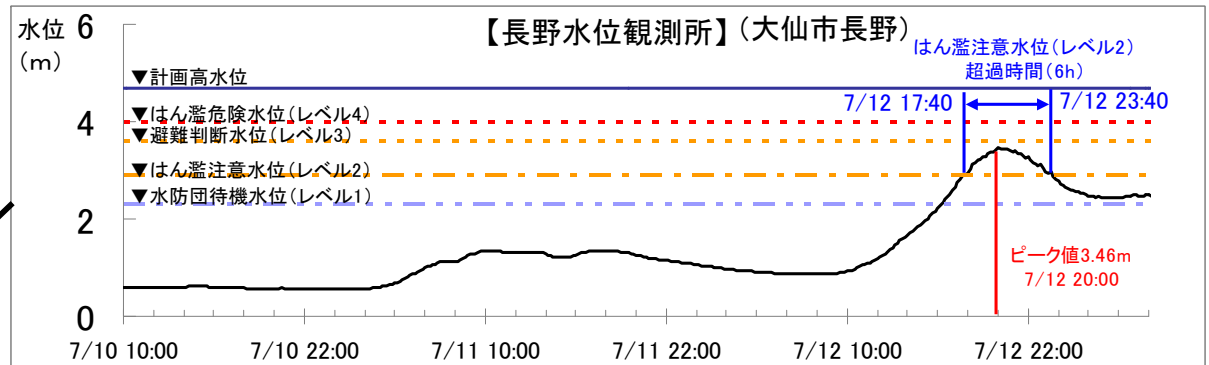
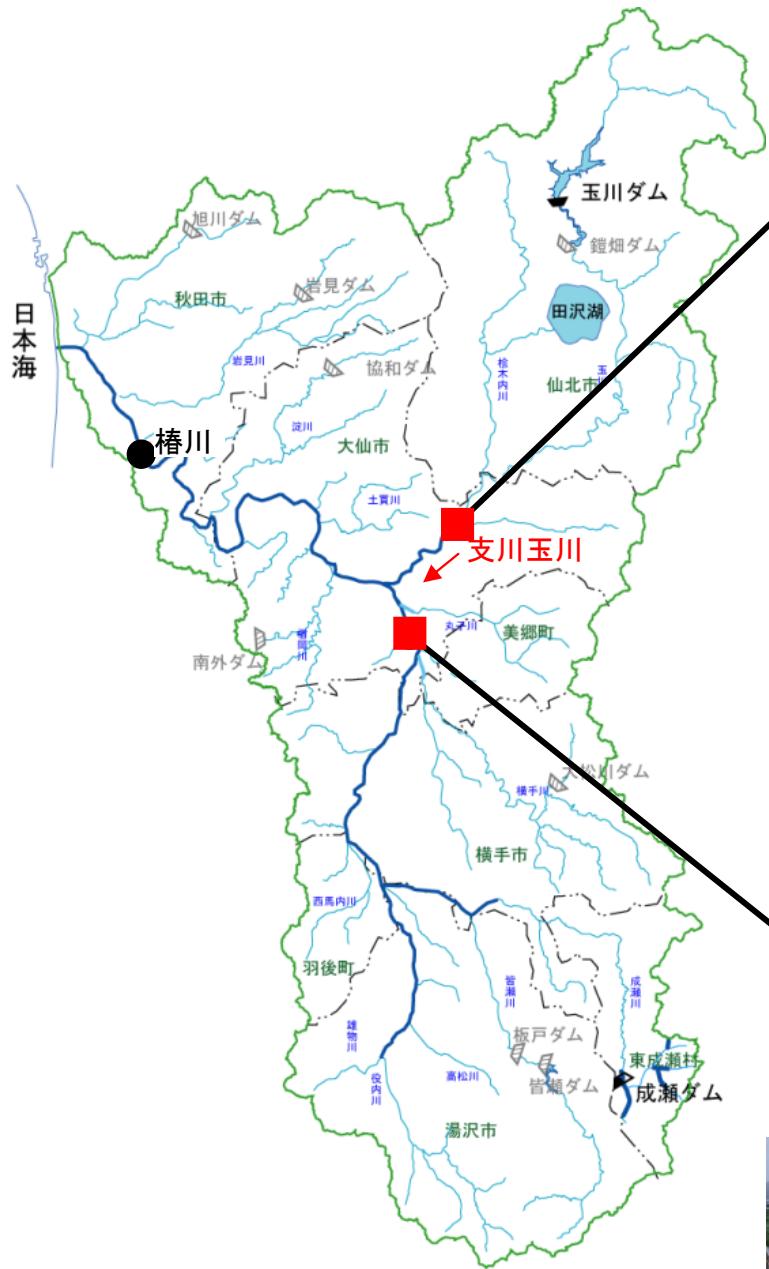
神宮寺観測所(大仙市神宮寺)下流を望む(撮影日時:13日5:20)

平成25年 7月11日~13日	6.38
最高水位観測日時	(12日23:10)

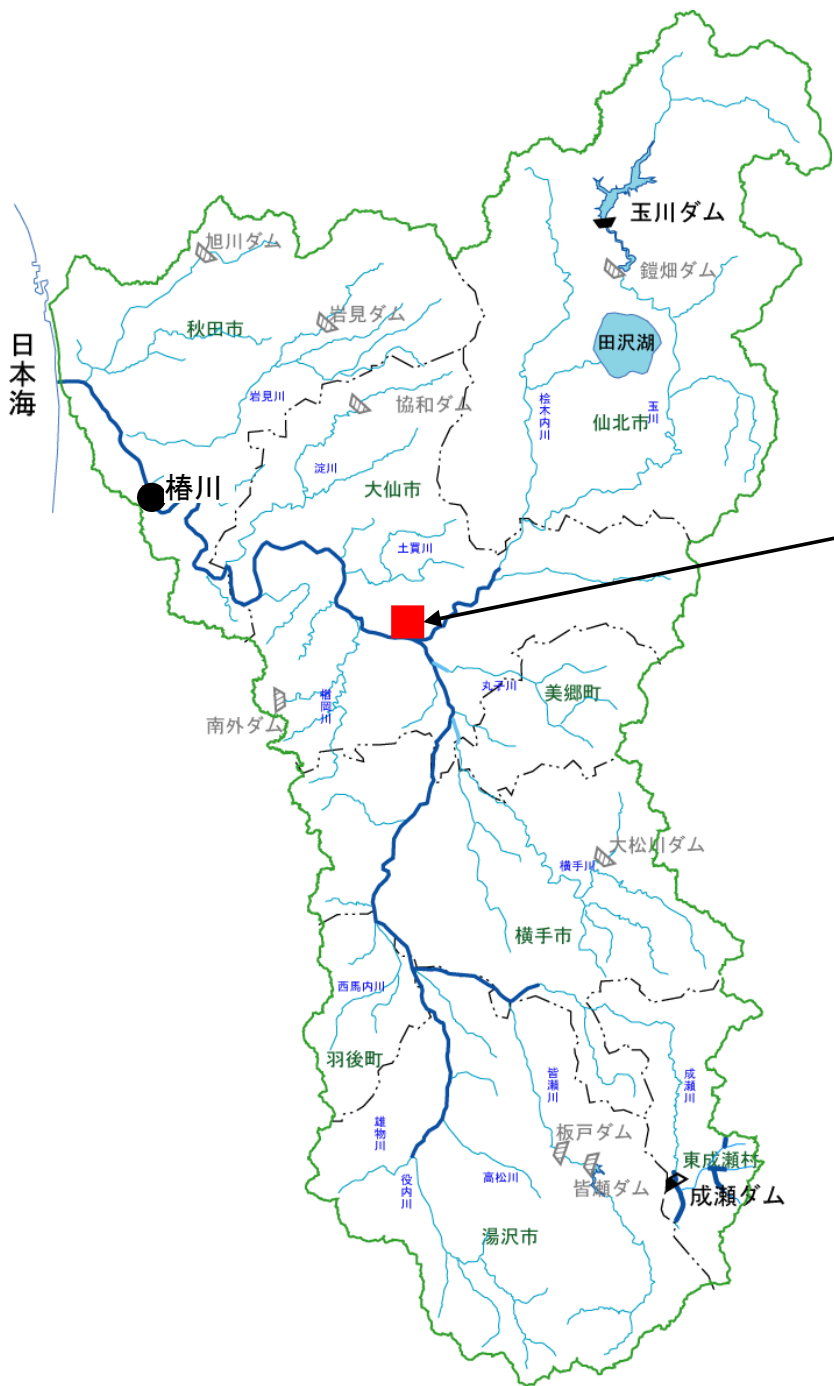
※赤字は、直近30年間の最高水位
※平成24年・平成25年の水位は、暫定値

出典:国交省水位観測データ

出水の状況(他観測所においてもはん濫注意水位を超過)



浸水被害軽減対策と効果①



大型土のうによる緊急対策

大仙市
間倉地内



堤防の無い間倉地内において、大型土のうを設置し、浸水被害の未然防止対策を行った。

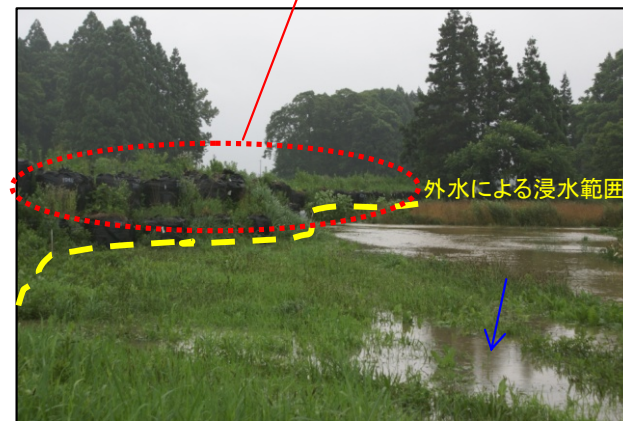


大型土のう126袋(延長約50m)を設置
(7月12日17時50分 設置完了)

緊急対策による効果

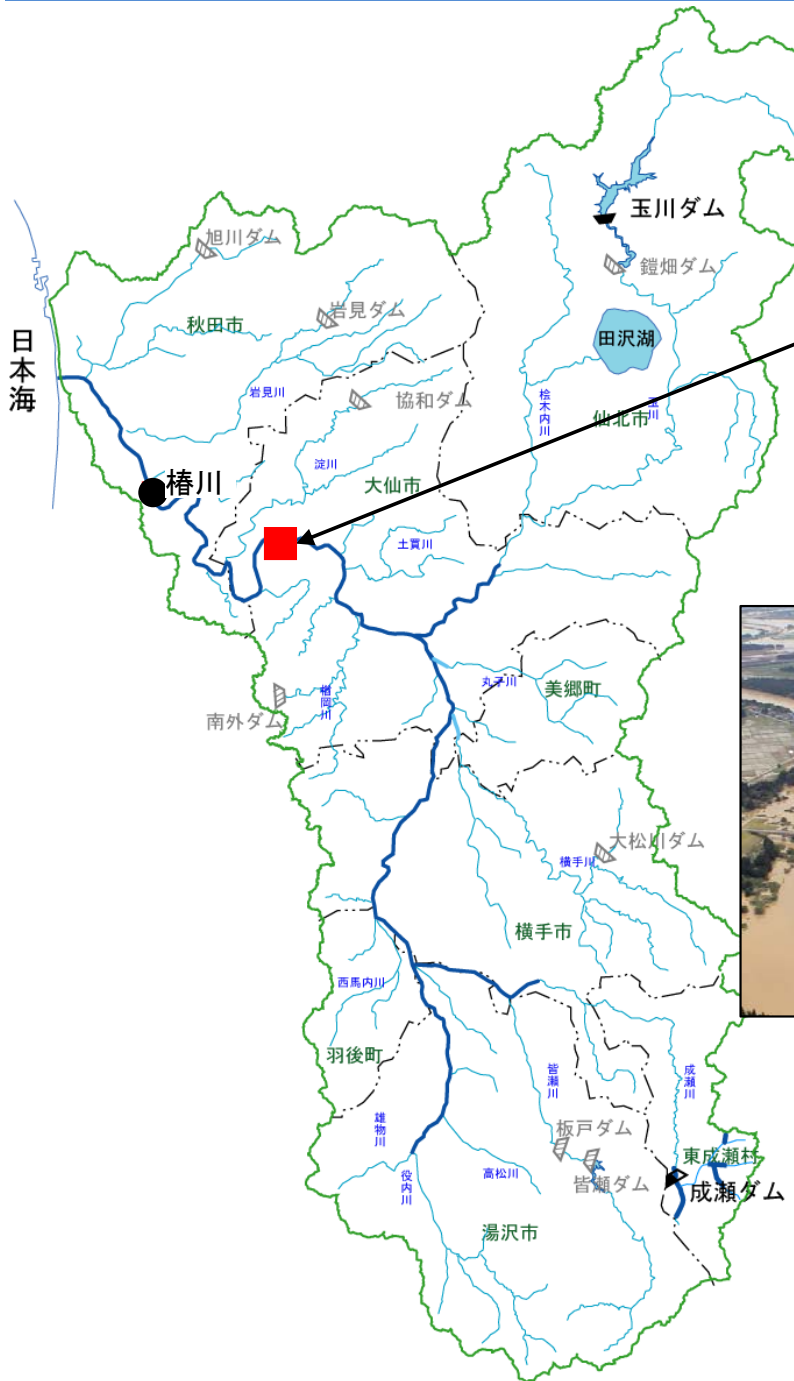
- 雄物川の水位が地盤から約70cmの高さまで上昇しましたが、洪水前に緊急的に土のうを設置したため、心配された浸水被害の発生はありませんでした。
- 大型土のう設置により、浸水被害を防止する効果がありました。

大型土のうを設置



大型土のうにより
外水の浸入を防止

浸水被害軽減対策と効果②



大仙市強首地区

堤防整備による効果

堤防の整備(事業中)により浸水被害を防止

- 平成23年6月の出水では、強首橋上流の地区で浸水被害が発生。
- 現在事業中の堤防整備により、約54haの浸水が解消。
(こまちスタジアム約38個分に相当)

H23.6出水状況



H25.7出水状況

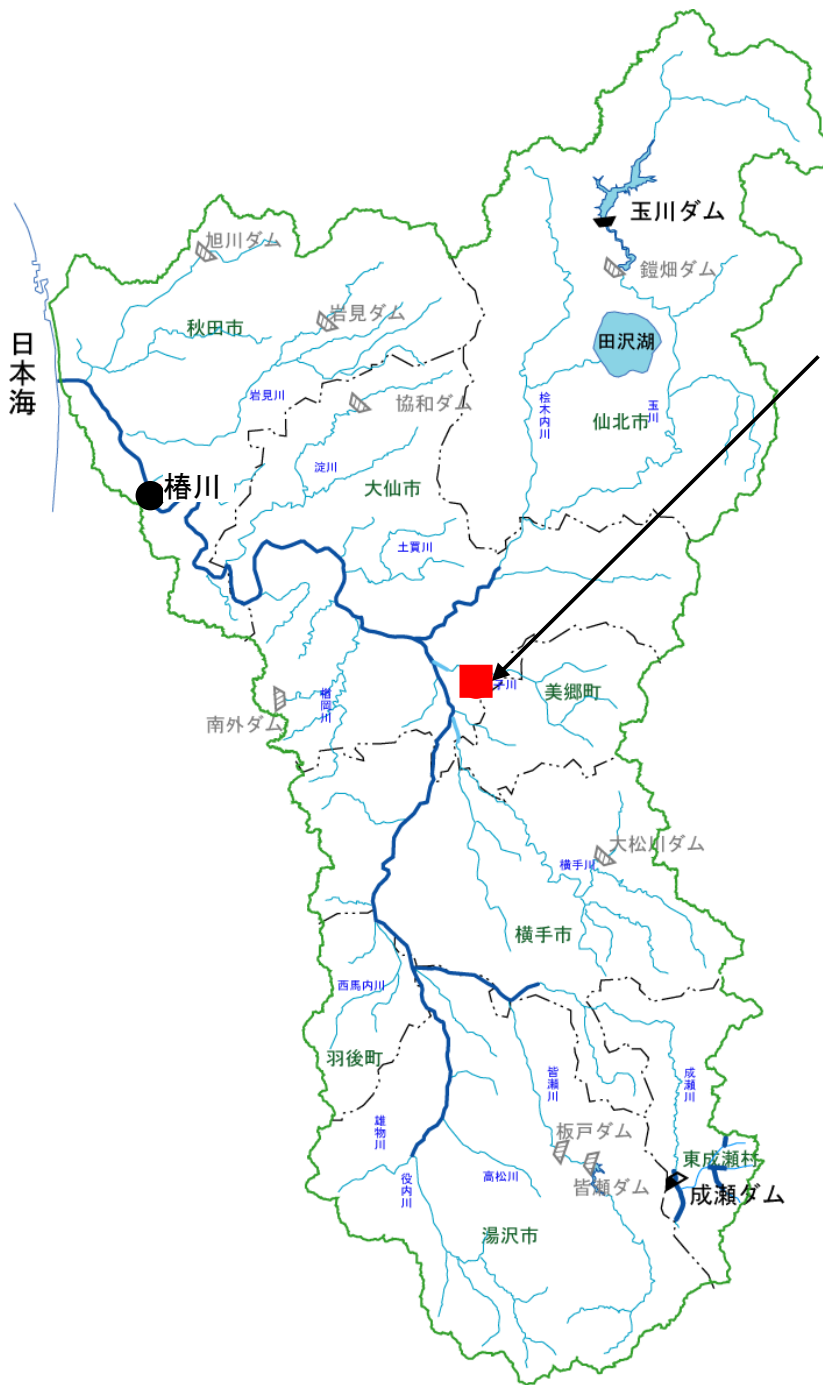


(撮影日時:12日15時)



現在事業中の堤防整備により、浸水被害を防止

浸水被害軽減対策と効果③



大仙市大曲浜町地区

排水ポンプ車による排水活動



内水(宅地側にたまった水)を丸子川へ排水



(撮影日:12日)

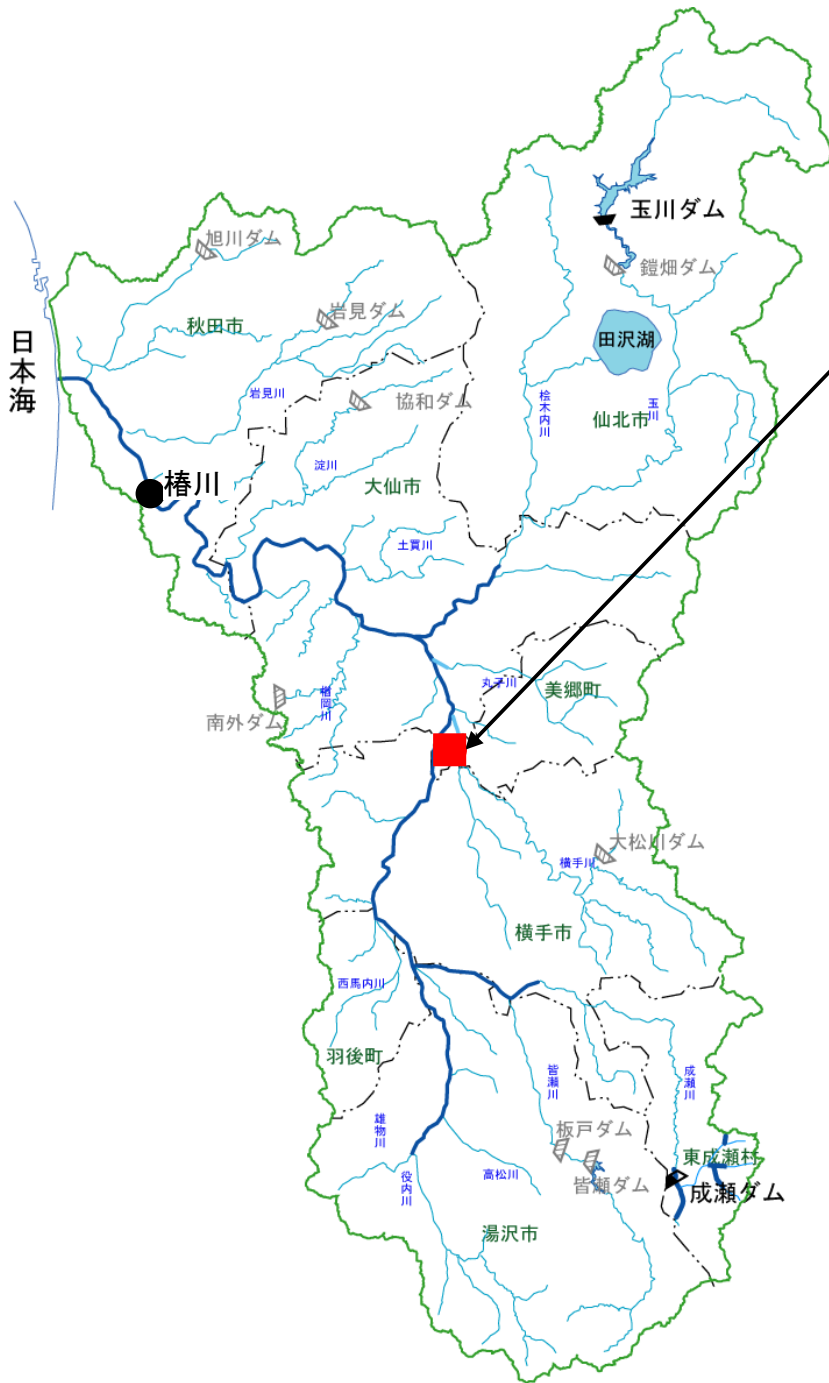
排水活動による効果

- 排水ポンプ車(断続的に約6時間稼働)により、9,900 m³の内水を排水。(25mプール約28杯分に相当)
- 仮に、排水が行われなかった場合、周辺の地区においては、**約2haの浸水が発生したと想定されます。**
- 引き続き、梅雨期、台風期の洪水に対しても万全を期して参ります。



想定される浸水範囲
(浸水面積:約2ha)
(浸水家屋数:約80戸)

浸水被害軽減対策と効果④



排水ポンプ車による排水活動

大仙市角間川町地区



内水(宅地側にたまった水)を雄物川へ排水



(撮影日:12日)

排水活動による効果

- 排水ポンプ車(連続で約22時間稼働)により、81,000m³の内水を排水。(25mプール約225杯分に相当)
- 仮に、排水が行われなかった場合、周辺の地区においては**約10haの浸水が発生**したと想定されます。
- 引き続き、梅雨期、台風期の洪水に対しても万全を期して参ります。



想定される浸水範囲
(浸水面積:約10ha)
(浸水家屋数:約10戸)

(参考1)主な時系列等

災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	警戒体制	注意体制	解除
河川	11日 9:20	12日 16:00	12日 20:00	13日 6:30	13日 13:00	

洪水予報

河川	水位観測所	第1報	第2報	第3報	第4報	第5報	第6報	第7報
雄物川	大曲橋(大仙市)	12日 16:40	12日 18:40	12日 19:40	13日 4:20	13日 6:30	13日 9:40	13日 12:50
雄物川	神宮寺(大仙市)							
玉川	長野(大仙市)	12日 18:20	12日 23:50	—	—	—	—	—

水防警報

河川	水位観測所	待機	準備	出動	待機	解除
雄物川	雄物川橋(横手市)	11日 9:30	—	—	—	13日 2:30
雄物川	大曲橋(大仙市)	11日 13:10	12日 14:00	12日 16:00	—	13日 10:20
雄物川	神宮寺(大仙市)	11日 10:50	12日 14:10	12日 16:40	13日 12:50	
玉川	長野(大仙市)	12日 16:30	12日 17:00	12日 18:00	—	13日 9:00

河川巡視

河川	出張所名	巡視時間
雄物川	大曲管内	12日 16時4分～ (河川巡視継続中)

10:00現在

河川管理施設の操作(樋管等)

河川	出張所名	ゲート全閉操作施設数
雄物川	大曲管内	37施設
雄物川	十文字管内	2施設

10:00現在

リエゾンの派遣(大仙市での活動状況)

- 当事務所からリエゾン(災害対策現地情報連絡員)2名を大仙市災害対策本部に派遣。
- 大仙市の情報(被害状況・避難勧告等)収集や当事務所災害対策支部からの情報の提供など、相互の情報共有を行いながら対応を行いました。



(撮影日時:12日)

照明車を利用した状況把握

- 低い土地にある家屋等への浸水状況を把握するため、照明車による監視を行いました。

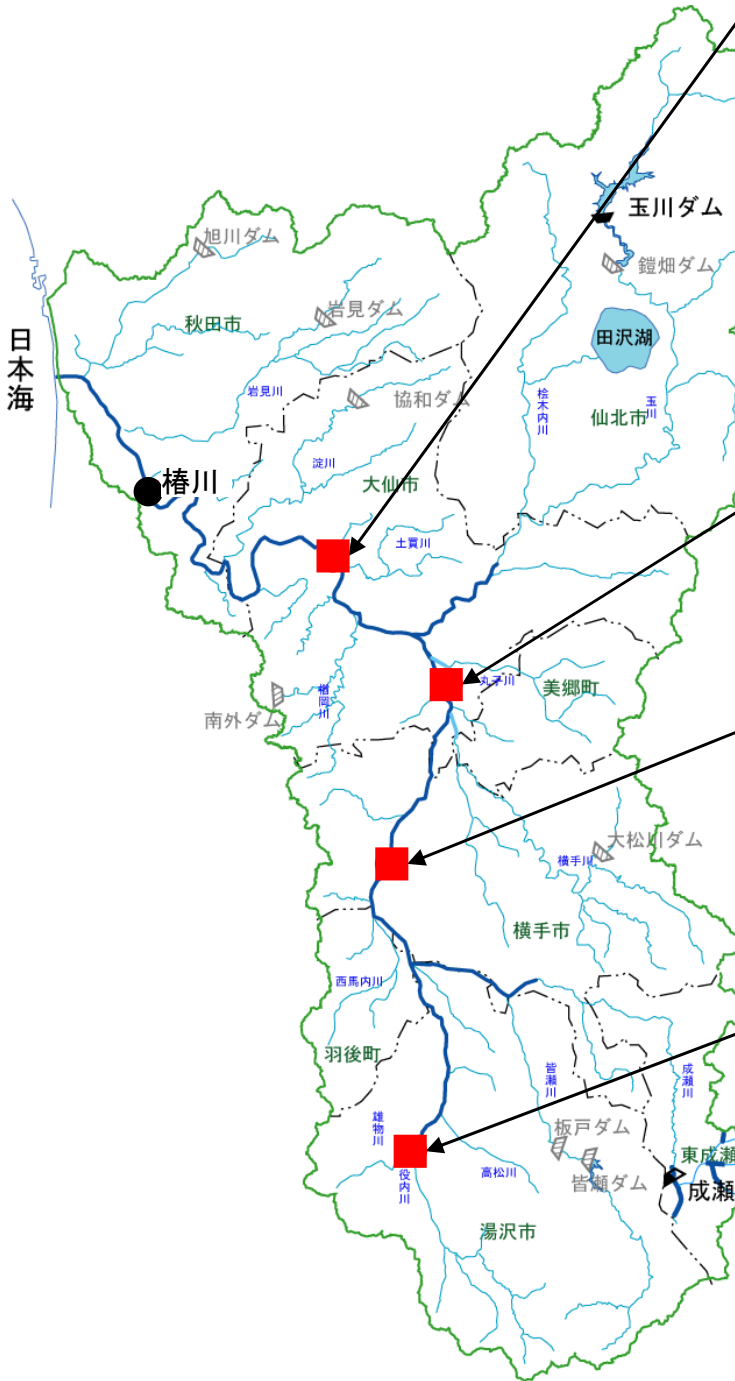


(撮影日時:13日4:00)

大仙市北野目地区[雄物川左岸]

(参考2) 河川水位の状況(カメラ映像)

※記載の水位は、水位観測所量水標の値です



刈和野橋水位観測所(4時00分) 7.06m
(大仙市刈和野)



大曲橋水位観測所(4時10分) 3.36m
(大仙市小貫高)



雄物川水位観測所(4時10分) 1.85m
(横手市雄物川)



岩館水位観測所(4時00分) 1.21m
(湯沢市小野)